

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北陸)	◎	－	－	－
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・6月13日に県独自の緊急事態宣言が解除され、人通りの増加を期待したが、梅雨ということもあり、全く変わらずである。7月22日からの4連休は、最初の2日間だけコロナ禍を感じさせないくらい数多くの人出でにぎわったが、東京オリンピックの開幕とともに人通りが激減している。
	○	一般小売店〔書籍〕（従業員）	販売量の動き	・販売量は微増である。良くなったり悪くなったりを繰り返している。
	○	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・ブランドジュエリー、高級時計、絵画など、商品は限定的だが、好調に推移するものが出てきている。上位顧客が新型コロナウイルスの影響で旅行やイベントなどを敬遠し、これらの消費ヘシフトしているとみている。
	○	スーパー（店長）	単価の動き	・1品単価の上昇が若干みられる。
	○	スーパー（仕入担当）	販売量の動き	・東京オリンピック、新型コロナウイルスの影響による在宅率の上昇に伴い、家庭内消費が拡大している。気温の高い日が続く、夏物商材の販売量が伸びている。
	○	コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・例年にはない4連休があり、予想以上に盛況である。
	○	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・7月下旬から、新型コロナウイルスの感染者数が過去最高値で推移している。7月26日から市内の飲食店は21時までの営業となり、集客に与える影響はかなり大きい。特に和食部門は散々な日が続いている。
	○	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・昼の人出が少し多くなってきている。ただ、夜の客は戻らない。
	○	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・コロナ禍のなか、夏休みに入った客が新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、直近の予約を少しずつ入れているようである。また、25日からはインターハイが開催され、来客数は伸びている。
	○	美容室（経営者）	それ以外	・売上、来客数共に前年比で7%ほどアップしており、好調である。また、店独自のキャンペーン商品もよく売れている。
	○	住宅販売会社（営業）	お客様の様子	・新規の来場者数は低調ながら、商談数が急に増加してきている。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・東京オリンピックによる4連休で、駐車場には県外ナンバーの車も多数駐車していたが、街中の活気は今一つである。客は若者中心で、50代以上の姿は少なかった。買物というよりは、時間潰しの人出である。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により最悪だった前年の状況から見れば少し落ち着いてきたが、前々年の新型コロナウイルス発生前の状況まではまだ遠い気がする。やはりワクチン接種のスピード感が鈍い。一方だけの努力にも限界があるとみられ、行政の対応が遅くて口だけの感じがする。商店街は、人との接触が大切な商売であり、イベントの中止が一番の痛手である。
	□	一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・ギフト関係の商材の動きは良いが、デイリーの売上が少し芳しくない。どちらともいえない感じである。
□	一般小売店〔事務用品〕（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は少なくなってきたとみているが、首都圏で緊急事態宣言等も出ており、地方都市もまだまだ予断を許さない状況にあると考える。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・ここ数か月における客の動向は、必需品に限った購入の上、吟味して購入する行動が続いている。また、旅行や出張などといった外出需要の減少や、テレワークの増加によるビジネス関連商材の減少で、これらに関連する部門が大苦戦である。特に紳士物にはほとんど需要がない状況である。大幅に減少したものの、ワクチン接種の完了からか、7月に入り徐々に高齢客の購買が増加しており、小さな光もみえてきている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・客の様子を見ていても、横ばいのようなようである。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	単価の動き	・単価も来客数も変化はない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	来客数の動き	・今月の売上、来客数共に数か月前と比べて完全に横ばいとなっている。東京オリンピックの開催から少し売上が上がるものと見込んでいたが、予想に反した結果である。勤務先や友人に新型コロナウイルスの感染者が出て、自身も濃厚接触に当たるので判断待ちといった話を客から数件聞き、全体的に自粛が進んでいる感じがする。また、東京オリンピックの放送がある影響で、夜以降の売上が伸びている。7月前半は景気が悪く、後半は夜限定で東京オリンピックの影響が少しあるものの、昼間は売上減少という状況である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（営業）	来客数の動き	・県内の新型コロナウイルス感染者は一定の人数で推移しており、ほとんど影響はないとみているが、東京の感染者数による影響が大きい。関東圏の感染者の数が収まらないと終息しない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・東京オリンピックが開催されているが、新型コロナウイルスの感染拡大は収まらず、買物や飲食に否定的な雰囲気があり、なかなか厳しい。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（本部）	販売量の動き	・前年はエアコンが悪かったため良くみえるが、冷蔵庫や洗濯機など他の商品が苦戦している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・3か月前に比べると来客数は少し増えてきているが、販売量は余り増えていない。コロナ禍で購入には慎重な様子である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・自動車販売において、半導体不足などの影響による生産の遅れは今後の不安材料ではあるが、春先からの受注残を相当量抱えており、販売台数は引き続き好調に推移している。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [酒]（経営者）	販売量の動き	・とにかく暇である。お中元も大したことがない。個人的な話だが、夫婦ともども2回目のワクチン接種を終え、一安心という感じである。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	お客様の様子	・全体として来客数と販売量が伸びていない。県内の感染状況が落ち着いたこともあり、7月上旬から中旬にかけては来客数と販売量が伸びたものの、4連休とそれ以降は鈍化しつつある。県内と隣接県の新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあり、影響が出始めてきている。東京オリンピック効果でスポーツ用品やアウトドア関連等に良い影響が出ており、販売量が増加している。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（統括）	お客様の様子	・コロナ禍の状況がいまだに続いており、規制が緩むと外食する客が多くなるが、その後新型コロナウイルスの感染が急拡大し、また規制がかかるということ今年も4月から何度も繰り返している。7月は4連休まで地元客、観光客共に動いていたが、7月26日から全国的に感染が拡大し、旅行者のキャンセル等が続出している。人の動きが止まり、来月は景気が大幅に下がるとみている。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・6月13日にまん延防止等重点措置の適用が終わっても客の戻りを感じられない。県民宿泊割引や、Go To Travelキャンペーンが実施されないと厳しい。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・県内割引キャンペーンが復活し、客は少し戻ったが、前年の売上とほぼ変わらない状態である。

□	タクシー運転手	来客数の動き	・月初めは順調であったが、月半ば以降は新型コロナウイルスの感染者数が増加し、7月26日からは飲食店を中心に営業時間の短縮要請が始まっている。また、東京オリンピックのテレビ観戦の影響もあって人出はなく、まだまだ厳しい状態が続くとみている。
□	タクシー運転手	来客数の動き	・暑い季節にもかかわらず、病院や買物に出掛けるタクシー需要が伸びない。連休中は観光で登山の予約が多く入っていたが、新型コロナウイルスの影響で予定する人数が欠けたという理由で、前日になってのキャンセルが結構多い。
□	テーマパーク (役員)	来客数の動き	・2～3か月前は新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置で、全国的に人の動きが制限されていた。現在は一旦解除されて人がようやく動き出したところで再び感染が拡大しており、全体としては変わらない状況が続いている。
□	その他レジャー施設 [スポーツクラブ] (総支配人)	お客様の様子	・梅雨明けからの酷暑日と、東京オリンピックの開始で来館者が少ない。夏休みの特別教室も予定どおりの集客ができていない。ワクチン接種は停滞している。新型コロナウイルスの感染拡大で、前向きにフィットネスクラブに行こうとはなっていない。
□	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・例年販売量が若干少なくなる時期だが、今年も同様の感じである。しかし、1件当たりの金額は若干高くなっており、今後も住宅の付加価値を高めることも含め、販売金額を上げていくことが重要になってくると考える。
□	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・受注は目標をクリアしているが、次に契約まで持ち込める候補となる客の数が少ない。
□	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスに加え、木材高騰によるウッドショックで先行きが不透明なため、客の動きが鈍くなる。
▲	百貨店(売場主任)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者急増と東京オリンピック開催による外出を控える行動、大型商業施設開業による客の流出というトリプルパンチで、厳しい状況が続いている。
▲	スーパー(店舗管理)	来客数の動き	・新規出店が相次ぎ、固定客の奪い合いとなっている。コロナ禍の影響もあるかと思うが、固定客が流動客化している。
▲	衣料品専門店 (経営者)	それ以外	・現在は、ただただ新型コロナウイルスの感染拡大に左右されている状況である。
▲	自動車備品販売店 (役員)	販売量の動き	・集客面では大きな変化はみられないが、マイカーでの遠出自粛の影響なのか、メンテナンス関連の動きがこの数か月落ちてきている。好調だったドライブレコーダーも下がってきている。依然として車両販売も厳しい状況が続いている。
▲	住関連専門店 (役員)	販売量の動き	・販売量の動きからステイホームは一段落して落ち着いてきたようである。消費が外向きへと変わっている様子が見受けられる。
▲	スナック(経営者)	来客数の動き	・最悪だった前年の同時期よりは良かったが、赤字幅が少なくなったというだけである。また、東京オリンピックの開催、新型コロナウイルスの感染拡大、ワクチン接種の進捗を考えると、積極的に客を呼べない状況である。
▲	通信会社(営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる感染拡大の影響があるのかもしれないが、来客数自体が減っていて、なおかつ新機種への反応も薄く、販売が伴わない。
▲	通信会社(店舗統括)	販売量の動き	・来客数はそこそこあるが、販売につながる客が少なくなっている。
▲	通信会社(役員)	販売量の動き	・通信、放送共に新規契約者数が前年同期比で10%程度落ちている。
×	一般小売店[鮮魚] (役員)	販売量の動き	・4連休はさすがに観光客でにぎわった。例年の連休と同じくらいの人出である。しかし、その後東京や県内でも新型コロナウイルスの感染者数が急増し、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、ムードは一変している。

	×	衣料品専門店 (経営者)	単価の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で先行き不透明ななかでは、消費への慎重さが更に増し、単価が下がっていると考ええる。
	×	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が広がり始めて1年半経過したが、ワクチン接種が始まったことで徐々に感染拡大が落ち着くと思っていた。しかし、感染拡大は更に広がり、宿泊における県民割引の運用停止やまん延防止等重点措置の要請決定など、日々目まぐるしく状況が変わっている。今入っている予約のキャンセルへの懸念などもあり、景気は一気に落ち込んでいる。
企業 動向 関連  (北陸)	◎	—	—	—
	○	繊維工業(総括)	受注量や販売量の動き	・国内のファッション衣料は依然として厳しいものの、自動車用途やアウトドア関連は受注が回復している。海外ファッション衣料についても回復の兆しが出てきている。
	○	一般機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・今年に入り、右肩上がり受注が増え続けている。
	○	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・公共工事が順調に受注できている。
	○	広告代理店(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・受注件数が伸びており、単価も少しずつ回復傾向にある。
	○	税理士(所長)	取引先の様子	・7月は建設業関係の決算申告が比較的多かった。新型コロナウイルスの影響で前年は厳しい状態であったが、今年は売上も受注も堅調な様子が見られる。5月決算の法人では、6～7月も仕事は順調だという話が多かったことから、全体としてはそれほどマイナスにはなっていないような実感がある。
	□	食料品製造業(経営企画)	受注量や販売量の動き	・家庭消費向けの市販用商品、主にテイクアウト需要向けの業務用商品共に引き続き好調をキープしているが、突発的な要因で海外向けの受注に対応できず、トータルでは若干の前年割れで推移している。
	□	プラスチック製品製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス及び自動車業界の半導体不足の影響が継続しており、今一つ回復に力強さが欠ける状況が続いている。
	□	輸送業(役員)	取引先の様子	・コロナ禍ではあるが、エッセンシャルワーカーであるため、影響を受けにくい。
	□	輸送業(管理会計担当)	受注量や販売量の動き	・前年と比べれば改善傾向にあるが、新型コロナウイルスによる影響がなかった前々年と比べると十分な回復までには至っていない。
	□	通信業(営業)	受注量や販売量の動き	・今年3月は販売量はかなり上向きになったものの、4月以降は頭打ち感が否めない。県の補助金施策も前年実施されたものより補助金額が減額されていることや、業種にもよるが業績の伸び率も春先に比べて鈍化傾向にあることから、先行き不透明である。
	□	不動産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・少しずつ動きが出てきたり、情報提供をしたりしているという話を同業者から多く聞いている。
	□	司法書士	取引先の様子	・会社の設立、目的及び役員追加による変更登記の依頼が続いている。しかし、依頼者の話では服飾関係や飲食店関係、デパートの状況の悪さなどで、景気が良くなっているという感触はない。
		▲	精密機械器具製造業(役員)	取引先の様子
	×	金融業(融資担当)	取引先の様子	・一部取引先から前年に近い金融支援要請が来ている。緊急事態宣言が続く、取引先では売上確保ができない状態が続いている。東京オリンピックが開幕したとはいえ、無観客状態であり、経済への影響は限定的である。
雇用 関連  (北陸)	◎	—	—	—
	○	職業安定所(職員)	求人数の動き	・建設業が伸びている。また、飲食、宿泊サービス、卸小売業なども若干ながら伸びてきている。

（北陸）	□	人材派遣会社 （役員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で採用を控えている企業が多く、求人数も減少している。
	□	新聞社〔求人広告〕 （担当者）	求人数の動き	・今月も求人広告の出稿状況に大きな動きは見られない。業態によっては慢性的な人手不足感が見受けられるものの、積極的な採用にはつながっていない印象を受ける。
	□	民間職業紹介機 関（経営者）	求人数の動き	・今年度の新入社員が職場に落ち着いたためか、その後の新規の求人は少ないようにみえる。
	▲	求人情報誌製作 会社（編集者）	求人数の動き	・求人数が減っている。
	×	—	—	—